

平成 27 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,817,142円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,841.95㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:事務室、遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	19,097	16,389	18,378	16,315	16,670
	移動児童館利用者数	907	2,387	1,814	2,473	2,965
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	17	25	23	28	23
	開館日数(単位:日)	149	142	152	144	150

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、常勤職員2人、非常勤職員1人(児童厚生員は所長を含め4人)。 ③おたより「わんぱくっこ」及び「幼児向け日程表」等の発行・配布、ぶりあネットへの登録。 ④定期的にアンケートを実施するとともに日常「ご意見箱」を設置して利用者の苦情、要望を吸い上げ公表を行った。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電と節水を実施。光熱水費の省エネに努めた。工作材料に廃材を積極的に使用し、エコロジー教育の実践を行っている。 ④破損した玩具についてはおもちゃ病院の協力を得て修繕した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②机上訓練を含め、月1回の避難訓練を実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>1 平成27年7月7日・14日に子育て支援事業(幼児クラブ1歳児)に登録している母親にアンケート(無記名)を実施。 登録者数36人 回答者23人(回収率64%) 2 平成27年7月9日・16日に子育て支援事業(幼児クラブ2歳児・3歳児)に登録している母親にアンケート(無記名)を実施。 登録者数 45人 回答者数36人(回収率80%)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○幼児クラブはいかがでしたか？ (1歳児) ・毎回楽しく子どもと向かい合えて本当に楽しく過ごせた。 ・室内遊びをいろいろ教えてもらい、家でもできて良かった。(体操・バスタオルあかちゃん) ・同年代の子とふれあえて、いい刺激になった。 ・ママさん同士で話ができてよかった。 ・子どもが体操ができるようになったり、おはなしが聞けるようになり、うれしかった。 ・恥ずかしがって萎縮していたが走り回るようになりうれしかった。 ・子どもがなかなか輪の中に入れないが、その度に先生方にフォローしてもらいありがたかった。 ・子どもができないので、心が折れそうになったが、先生方が見守ってくれていたことが救いだっった。</p> <p>(2・3歳児) ・毎回いろいろ工夫していて、子どもが楽しめる活動で、季節に合わせた内容はとてもよかった。 ・0歳から参加しているが、月齢にあわせた内容で楽しく参加できた。 ・親子共々リフレッシュできた。・子どもだけではなく親も勉強になる。 ・人見知りだったがおかげで慣れて笑うようになった。 ・いつも抱っこだが、本人は楽しんでいるようだ。 ・家ではできない遊びを思いきりできてよかった。 ・子どもの成長(体操・挨拶・話を聞く)を感じることができてうれしかった。 ・同年代の子と関わる良い機会になりよかった。・交流ができてよかった。 ・先生方の手の込んだおもちゃや楽しいパネルシアターなどに感動した。 ・先生が声をかけてくれたり、気持ちをくんでくれたり安心できた。 ・遊ぶとききちんとしなくてはいけない時のめりはりもつけてもらい本当によかった。</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望 ○児童館へ ・駐車場がたくさんほしい。(カラフルタウンから歩くのはしんどい。雨の日は大変だ。)⇒小さいお子さんを連れて歩くのは暑い時、雨の時大変だと思いますが、どうしても数に限りがありますので、乗り合わせ等よろしく願いいたします ・お菓子を食べていい場所がほしい。⇒お菓子は難しいですが幼児クラブ参加者にはランチタイムを設けます。 ・乗り物置き場のスペースが少し狭い。⇒たくさん乗り物がありますので整理しながらつかっています。一度に出さずにスペースを空けていきたいと思います。 ・壊れたおもちゃや電池切れを直してほしい。⇒申し訳ありません、点検をしますが不都合を見つられたときおっしゃって下さい。 ・軽食できるスペースがあるといい。⇒幼児クラブの方は老人センターにお願いしてホールでランチを食べて頂きます ・音楽が好きなので、音楽を流している時間を増やしてほしい。⇒図書室があったりゲームに集中している子もいる為、常時とはいきませんが、子どもたちの反応を見て流す時間曲を考えたいと思います。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価				A

効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価				
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>○岐阜県歯科衛生士会による歯の健康講座「歯はっこクラブ」を継続開催した。安定した参加者数も確保できており、参加者の評価も良い。</p> <p>○小学生向け行事の充実に努め、新しいあそびである「マンカラ」を紹介し、普及に努めて、定期的に大会を開いている。</p> <p>○岐阜市カラムカップを柳津児童館で開催し、多くの参加を得ることができた。カラムカップを機会に他のオセロ、卓球、ドッチ、なわとびなど多くの大会で同じようにトロフィー、カップ盾を作り、子どもたちの意欲を高め、参加を促すことになった。</p> <p>○新規講座として、子ども和太鼓を開設した。当日締め切りとなるほど予想を超えた人気であり、地域の和太鼓保存会の協力も得て、なつまつりで披露をすることができた。</p> <p>○NPOの協力を得て キッズフリーマーケットを開催した。買う立場だけでなく、自分の商品を持ち寄り、お互いやり取りで値段を決めたりと、子ども達にはとても貴重な経験となった。</p> <p>○児童館縁日、夏祭りを開催し、普段児童館へは数多く来ない子どもたちもたくさん来館することに結び付けることができた。また、地元大学生や、中学生ボランティアの協力も得ることができ大変盛況であった。</p>
--------------	--

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○事業団内の児童館・児童センターの職員対象に研修会を開催している。 他の児童館への実地研修や行事への参加を行ったり、遊びを持ち寄りしながら、お互いのスキル向上に努めている。他の児童館職員の受け入れも行った。また、岐阜県児童館連絡協議会の主催する研修会にも積極的に参加をしている。 ○高齢者福祉センター、放課後児童クラブが併設されているメリットを最大限活用し、世代間交流、継続した支援、他機関との連携、夏休みの充実などを図る。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>児童館の原点である3つの目的を改めて確認し、充実を図りたい。 ○遊び場の提供、遊びの紹介 ・携帯ゲーム全盛の時代、仲間と体を動かし、工夫をしあうあそびの経験を進めていくとともに、児童館の居場所としての機能を提供していきたい。公園で擦り傷ができたので、自転車の調子が悪いので、家で兄弟とケンカしたので、遊びが上手になりたいので、児童館へ行けば何かあるという思いを広げていきたい。 ○子育て支援 ・幼児クラブの開催は引き続きすすめていく。最近は働く母親の為に祖父母がお孫さんを連れて来所することが多くなっている。今後孫育ての為に、おばあちゃんおじいちゃんとお孫さんを対象とした孫育ての場を考えていきたいと思う。また、幼児クラブを経て幼稚園保育園へ就園していくため、幼稚園のプレ教室との連携も考えていきたい。 ○地域との連携 ・柳津地区の特性として、行事を地域の各団体が関わって開催していく実行委員会形式的な催しが多く、児童館もメンバーとして要請される機会が多い。児童館で行う行事 なつまつり、あきまつり、児童館まつりなど関係団体にも呼びかけ協力していただくことも方法の一つと考えている。併設する柳津高齢者福祉センター、柳津放課後児童クラブとの連携をより強め、メリットを最大限活用していきたい。</p>

●所管課の意見

<p>毎月の「おたより」を担当小学校に配布のほか、児童館及び岐阜市社会福祉事業団のホームページで事業の紹介、地域の保健センターや公民館に広報版にて周知に努めている。 各児童館が持ち回りで開催しているカロムの大会「カロムカップ」を、今年柳津児童館で開催し、優勝カップを目指して多くの参加者で盛り上がった。これを機会に、倉庫に眠っていた中古のトロフィーや盾を飾りを付け替えるなど改造し、ドッチボールなどの大会に利用するなどして、子ども達の行事への参加を促し、意欲を高める工夫を行った。 また、地元保存会の協力で和太鼓講座を新規で開催しており、練習の成果を柳津なつまつりで披露するなど、地元団体の活用や、地元活動への積極的参加を行っている。 児童館縁日や夏祭りの開催の際には、地元ボランティアや中学生ボランティアが積極的に協力をを行い、イベントを盛り上げた。 職員体制や運営状況については問題なく行われている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>児童館のあるべき姿を実現するために、「遊び場の提供、遊びの紹介」、「子育て支援」、「地域との連携」、この3つの目的を定め、その目的を確認しながら事業を充実していく進め方は、計画的、組織的で評価できる。 和太鼓を地元の祭りで披露したり、地元ボランティアや中学生ボランティアの受け入れを行うなど、児童館が地域社会に溶け込み、身近な施設となるための様々な取り組みが工夫されており、評価したい。 児童館で活動するボランティアが地域で活躍できるように育成、援助するとともに、地域住民がボランティアとして児童館の活動に参加できる場を今後も積極的に提供していただきたい。 アンケート等の利用者要望を分析し、さらなる満足度向上、利用促進に努めていただきたい。 適正に管理運営が行われており、良好と認められる。</p>
